

化学物質を正しく理解し管理する

流通している化学物質は数万種類

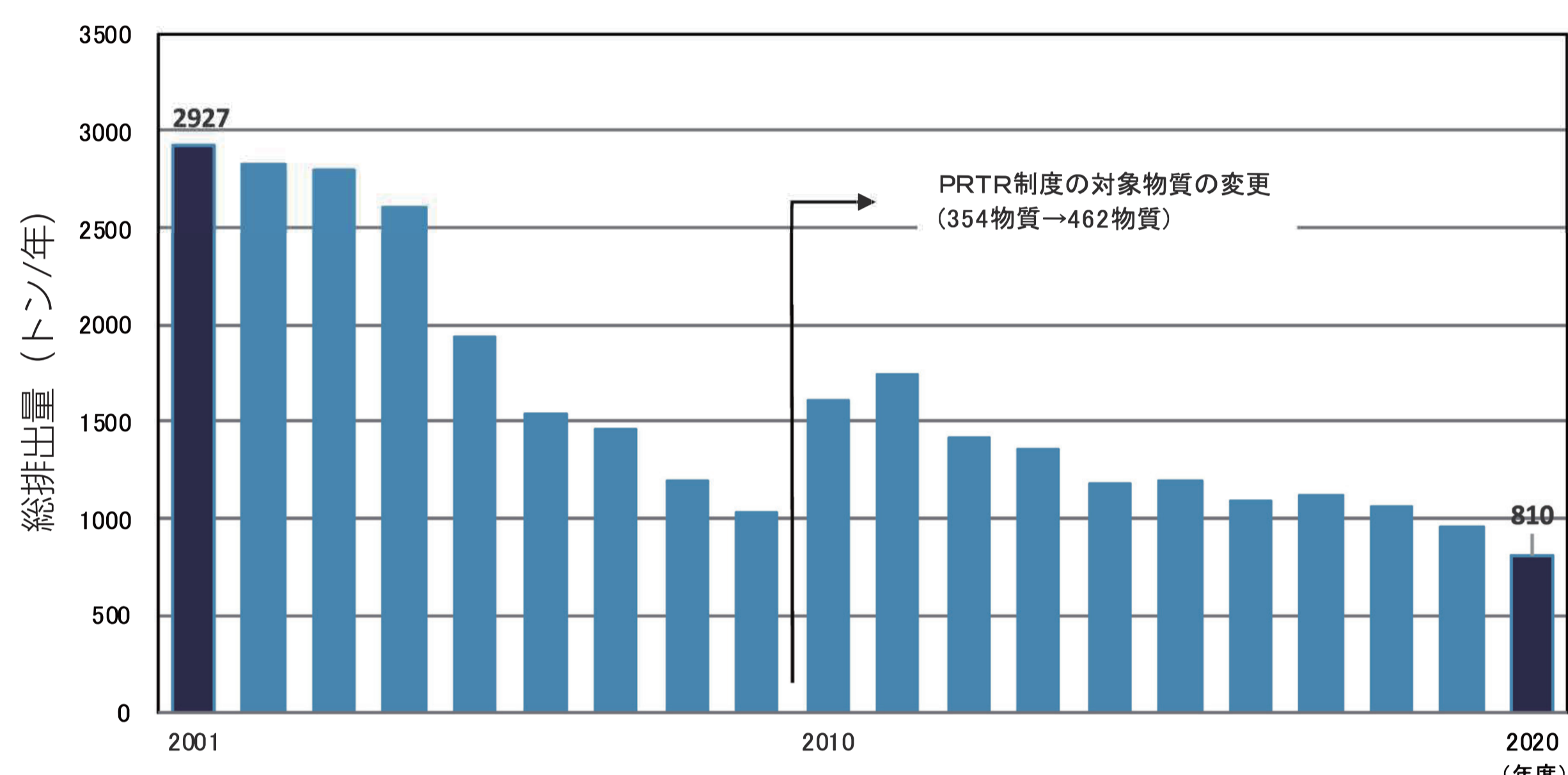


化学物質はわたしたちの毎日の生活に欠かせないものであり、日々新しい化学物質がつくられています。化学物質には、人の健康や生態系に悪い影響を与えるおそれもあるため、正しく理解し、管理する必要があります。

化学物質を適正に管理する取組

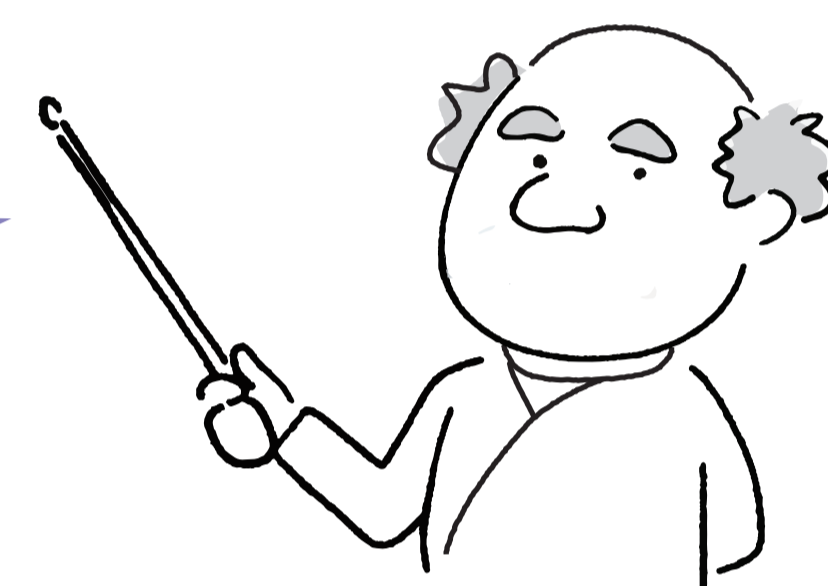
川崎市では化学物質を取り扱う工場が集積しており、次の3つの取組を実施しています。

1. 工場などから排出される量を、なるべく抑えるよう事業者には働きかけています。
2. 環境リスク※を考慮した事業者による化学物質の適正管理を促しています。



市内のPRTR対象物質の総排出量 (届出事業者からの排出量) の推移
PRTR (Pollutant Release and Transfer Registerの略) :
化学物質の排出・移動に関する情報を国が1年ごとに集計し、公表する制度

すべての物質は有毒である。
毒でないものは何もない。
適切な用量が毒と薬を区別する。



パラケルスス (スイス、1493~1541、医学博士)

※化学物質の環境リスクとは、化学物質が環境を経由して人の健康や動植物の生息又は生育に悪い影響を及ぼすおそれのある可能性のことをいい、下図のように表されます。



ばく露量：体にとりこむ量

3. 化学物質による環境リスクに関する情報を市民や事業者提供しています。(リスクコミュニケーション)



光化学スモッグ注意報の発令0日を目指す

大気環境の課題「光化学スモッグ」

川崎市では光化学スモッグ注意報が毎年発令されています。光化学スモッグは、光化学オキシダントという物質の濃度が高くなった時に発生し、「目がチカチカする」「のどが痛む」などの健康被害を引き起こすおそれがあります。



通常時の空



注意報発令時の空

- 光化学オキシダントはどのように発生するのか？揮発性有機化合物 (VOC)※や窒素酸化物 (NOx) が太陽の紫外線を受けて化学反応を起こすことにより発生します。

※VOCは気体になりやすい物質で、ガソリン、ペンキ、スプレーのガスなど身近なものに含まれています



詳細な生成過程は未解明の部分が多い

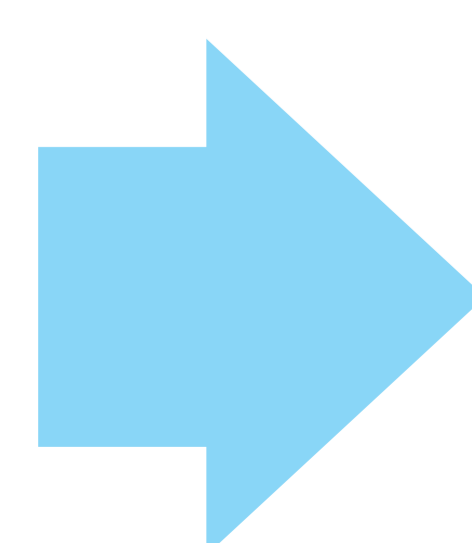
光化学スモッグを減らすための取組



周辺自治体と連携した広域のVOC調査・研究



工場などの排出状況の調査



影響の大きいVOC排出削減を市民や事業者呼びかけます。

数多く存在するVOCの中でも、どの物質が光化学スモッグの発生に大きく影響するか、調査や研究を行っています。